

東北大学金属材料研究所

「平成 22 年度低炭素社会実現のための基盤材料創製研究事業に係る研究プログラム助成」研究成果報告会について

低炭素社会基盤材料融合研究センター（LC-IMR）は、平成 22 年 4 月に発足し、低炭素社会構築に材料科学の面から役立つ研究推進を目的として、個別および分野融合による研究活動、産学連携活動の推進などを行うとともに、研究助成として「低炭素社会実現のための基盤材料創製研究事業に係る研究プログラム助成」事業を運営し、所内の研究シーズの育成を行っております。

平成 22 年度には、下記にあげた 5 件（一般枠 3 件、若手枠 2 件）が助成研究として採択されました。この度、平成 24 年 3 月をもって、これらに関して 2 年間の研究助成期間が終了いたしました。これを受けて、得られた研究成果を広く発信するために、終了後の審査委員会のヒアリングを兼ねて、平成 24 年 8 月 31 日に成果報告会を開催いたしました。

＜一般枠＞ 助成額 1,000 万円

採択研究者名	テーマ
宇田 聡 教授	車載用高効率燃焼圧センサー基盤に最適なランガサイト型結晶の開発
千葉 晶彦 教授	超微細粒組織を有するフェライト鋼のナノ析出による高強度化～軽量高強度薄板鋼板の開発を目指して～
牧野 彰宏 教授	超低磁心損失と超高硬度を有する低環境負荷型 Fe 基ナノ結晶材料の開発

＜若手枠＞ 助成額 500 万円

採択研究者	テーマ
大野 裕 准教授	欠陥反応制御による太陽電池用シリコン結晶の高機能化
関 剛斎 助教	高保磁力 FePt ナノ構造体における磁気特性の電界制御



当日は、当所の研究者を中心に所外の民間企業からもご参加いただき、総勢32名の参加をいただきました。 研究報告の後には、審査委員と報告者との間で、活発な質疑応答が行われました。

金属材料研究所
低炭素社会実現のための基盤材料創製研究事業に
係る研究プログラム助成研究成果報告会
(平成22年度採択分)

日時：平成24年8月31日(金) 13:00 ~ 16:40

場所：東北大学金属材料研究所 COE 棟 2 階セミナー室 1

■一般枠研究発表

13:05 ~ 13:45 宇田 聡教授 <結晶材料化学研究部門>

「車載用高効率燃焼圧センサ基板に最適なランガサイト型 結晶の開発」

13:45 ~ 14:25 千葉 晶彦教授 <加工プロセス工学研究部門>

「超微細粒組織を有するフェライト鋼のナノ析出による高強度化
～軽量高強度薄板鋼板の開発を目指して～」

14:25 ~ 15:05 牧野 彰宏教授 <金属ガラス総合研究センター>

「超低磁心損失と超高硬度を有する低環境負荷 Fe 基ナノ 結晶材料の開発」

15:05 ~ 15:20 休憩

■若手枠研究発表

15:20 ~ 16:00 大野 裕准教授 <結晶欠陥物性学研究部門>

「欠陥反応制御による太陽電池用シリコン結晶の高機能化」

16:00 ~ 16:40 関 剛斎助教 <磁性材料学研究部門>

「高保磁力 FePt ナノ構造体における磁気特性の電界制御」

※当報告会は、研究成果を広くお知らせするため、一般公開としております。
皆様、奮ってご参加ください。



東北大学金属材料研究所
低炭素社会基盤材料融合研究センター
事務局 TEL: 022-215-2072
E-mail: lc-imr@imr.tohoku.ac.jp